デジタルフォトフレーム PF-50WGシリーズマニュアル

使いかたガイド

35010690 ver.02 2-01 C10-014

BUFFALO

本製品を正しく使用するために、このマニュアルでセットアップをおこなってください。お読みになった後は、大切に保管してください。

ネットワークにあるデータを再生する

1 本製品をネットワークに接続する

1 本製品の電源をONにします。

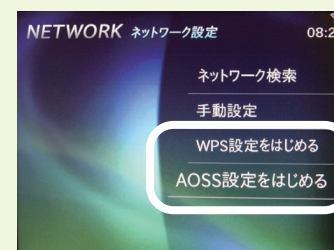
※リモコンの⏻ボタン、または本体の⏻ボタンを押すと、本製品のON/スタンバイを切り替えます。

2 ▼▲ボタンで[設定]を選択し、OKボタンを押します。

3 ▼▲ボタンで[ネットワーク設定]を選択し、OKボタンを押します。

以降は、AOSS/WPS対応の無線LAN親機に接続するか、手動で無線LAN親機に接続するかで設定が異なります。

A：AOSS/WPS 対応の無線 LAN 親機に接続する場合

4A ▼▲ボタンで[AOSS設定をはじめる]または[WPS設定をはじめる]を選択し、OKボタンを押します。

5A 無線LAN親機のAOSSボタン(またはWPSボタン)を押し、1～2分ほど待ちます。

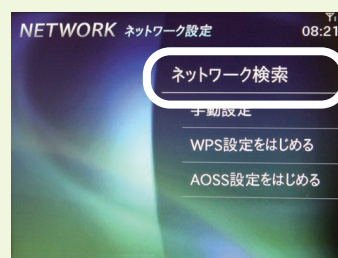
※イラストの例は、弊社製WHR-HP-Gシリーズです。

6A 「完了しました」と表示されたらリモコンの OK ボタンを押します。

※AOSSに関してのエラーメッセージが画面に表示されたときは、本紙うら面「AOSS設定時にエラーメッセージが表示されたときは」をご参照ください。

以上でAOSS/WPS対応の無線LAN親機の接続は完了です。

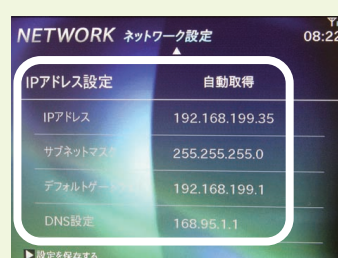
B：手動で無線 LAN 親機に接続する場合

4B ▼▲ボタンで[ネットワーク検索]を選択し、OKボタンを押します。

5B 接続したい無線LAN(SSID)を選択し、リモコンの OK ボタンを押します。

※接続した無線LANがリストに表示されないときは、手順4Bの画面で[手動設定]を選択し、直接無線LANのSSIDを入力して接続してください。

6B 画面に表示されたソフトウェアキーボードで無線LAN親機の暗号化キーを入力後、[確定]を選択しリモコンの OK ボタンを押します。

7B IPアドレス、DNSの値を画面上のソフトウェアキーボードで入力します。

※値が分からないときは[自動取得]の設定のまま、リモコンの▼ボタンで設定画面の2ページ目に移動し、リモコンの▶ボタンで設定を保存してください。

以上で手動での無線LAN親機の接続は完了です。

右上につづく

2 MediaServer2 をパソコンにインストールする

付属のCDでMediaServer2をパソコンにインストールすれば、お使いのパソコンのデータを本製品で再生することができます。

※既にDLNAサーバーを持っているなど、パソコンのデータを再生する予定がない方はMediaServer2をインストールする必要はありません。そのまま「4 DLNA対応サーバーのデータを再生する」にお進みください。

1 付属のCDをパソコンにセットします。

※簡単セットアップが起動します。起動しないときは、付属CD内の「BuffaloInst.exe」をダブルクリックしてください。

※Windows Vistaをお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、[BuffaloInst.exeの実行]をクリックしてください。また、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行]をクリックしてください。

※ファイアウォールの機能が有効となっている場合、本製品でパソコンが認識できないことがあります。このようなときは、本紙うら面「パソコンにMediaServer2をインストールして使うときの注意」をご参照ください。

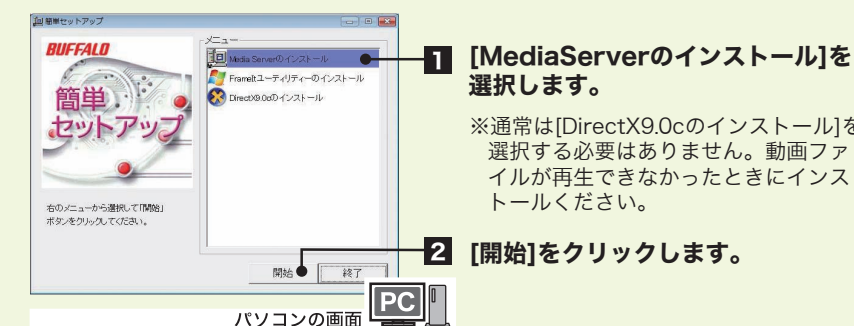
※コンピュータの管理者権限があるユーザー名でログインしてください。それ以外のユーザー名では正常にインストールできません。

2

パソコンの画面 PC

1 [MediaServerのインストール]を選択します。

※通常は[DirectX9.0cのインストール]を選択する必要はありません。動画ファイルが再生できなかったときにインストールください。

2 [開始]をクリックします。

以降は、画面の指示にしたがってインストールしてください。

※DirectX(9.0c)がインストールされていないパソコンでは、右の画面が表示されます。このようなときは、画面のメッセージにしたがってDirectXをインストールしてください。

お使いのパソコンによっては、再起動メッセージが表示されることがあります。このようなときは、画面をキャンセルして閉じてください。再起動は、「インストールが終了しました」と表示された後に行います。

※「インストールが終了しました」と表示されたら、[再起動]をクリックし、パソコンを再起動してください。

以上でインストールは完了です。

3 パソコンのフォルダーを登録する

再生したいデータがあるパソコンのフォルダーをMediaServer2で登録します。

※既にDLNAサーバーを持っているなど、パソコンのデータを再生する予定がない方はMediaServer2をインストールする必要はありません。そのまま「④ DLNAサーバーのデータを再生する」にお進みください。

1 [スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[MediaServer2]-[メディアマネージャ]をクリックします。MediaServer2がブラウザーで起動します。

※Windows Vistaをお使いの場合、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されることがあります。このようなときは、[続行]をクリックしてください。

2

パソコンの画面 PC

1 [メディアフォルダ]タブを選択します。

2 [編集] をクリックします。

3

パソコンの画面 PC

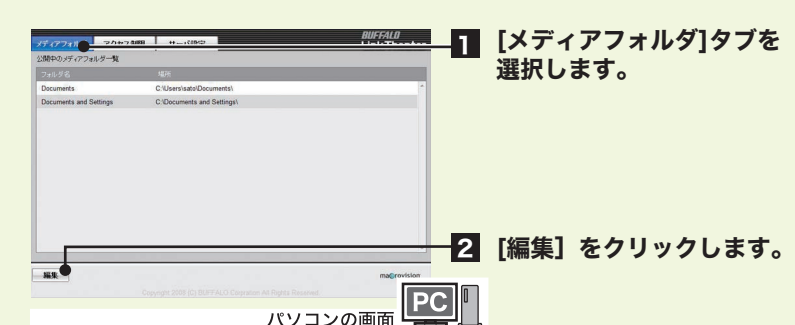
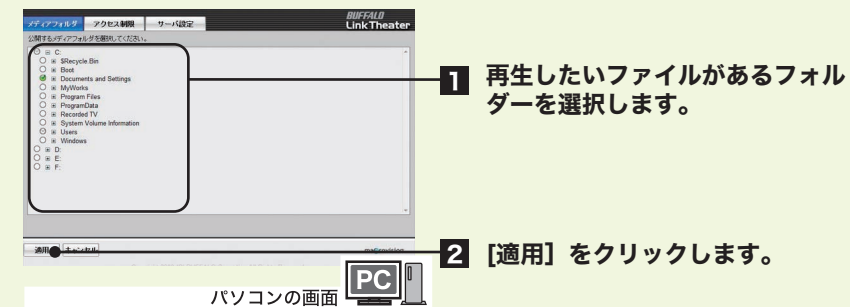
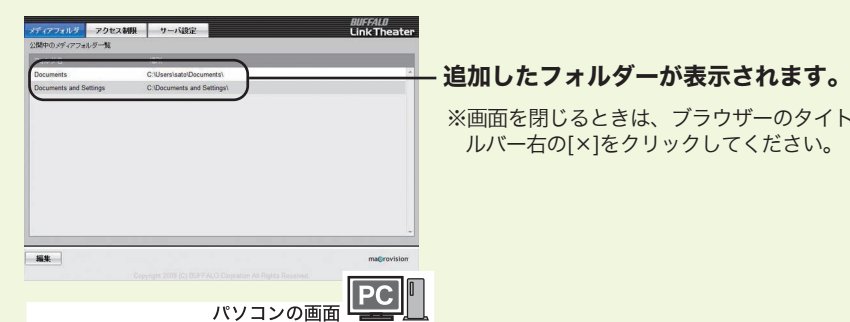
1 再生したいファイルがあるフォルダーを選択します。

2 [適用] をクリックします。

4

パソコンの画面 PC

追加したフォルダーが表示されます。

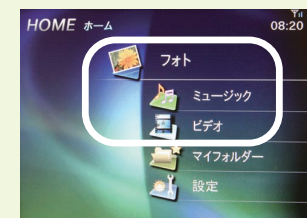
※画面を閉じるときは、ブラウザーのタイトルバー右の[×]をクリックしてください。

以上で再生フォルダーの登録は完了です。

※MediaServer2の詳細については、ヘルプをご参照ください。MediaServer2では、アクセス制限等を設定することもできます。
[スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[MediaServer2]-[MediaServer2ヘルプ]をクリックすると表示されます。

4 DLNA 対応サーバーのデータを再生する

1 本製品の電源をONにします。

※リモコンの⏻ボタン、または本体の⏻ボタンを押すと、本製品のON/スタンバイを切り替えます。

2 ▼▲ボタンでフォト、ミュージック、ビデオから再生するジャンルを選択し、OKボタンを押します。

3 ▼▲ボタンで[DLNAサーバー]を選択し、OKボタンを押します。

4 ▼▲ボタンで再生するデータがあるDLNA対応サーバー(またはMediaServer2でフォルダー登録したパソコン)を選択し、OKボタンを押します。

※リモコンのMENUボタンを押すことで表示される[サーバーの再検索]で、サーバーを再検索することもできます。

5 ▼▲ボタンで再生するデータを選択し、OKボタンまたは▶ボタンを押します。
選択したデータが再生されます。

※写真の場合、OKボタンを押すと同じフォルダー内の写真データがスライドショーされます。

※同じDLNAサーバーの複数のファイル(音楽と写真など)を同時に再生することはできません。

※DLNAサーバー内の音楽ファイルをBGM再生することはできません。

以上でDLNA対応サーバーのデータの再生は完了です。

うら面につづく

その他本製品でできること

BGM再生しながらカレンダー / 時計付きでスライドショーを見る

1. 本製品の電源をONにします。

※リモコンの⏻ボタン、または本体の⏻ボタンを押すと、本製品のON/スタンバイを切り替えます。

2. 写真データと音楽データを保存したメモリーを本製品に接続します。

3. ▼▲ボタンで[ミュージック]を選択し、OKボタンを押します。

4. 再生するメモリーを選択し、OKボタンを押します。

5. 再生したい音楽ファイル(またはフォルダー)を選択し、BGMボタンを押します。選択した音楽ファイルがBGMとして再生されます。

※リモコンのBGMボタンをもう一度押すとBGM再生を停止します。

※BGM再生中は、[ミュージック]画面に[再生中]の項目が表示されます。[再生中]を選択してOKボタンを押すとBGMの情報が表示されます。MENUボタンを押し、表示されたメニューからリピートを設定することもできます。

※DLNAサーバー内の音楽ファイルをBGM再生することはできません。

6. ホームボタンを押し、トップメニューに戻ります。

7. [フォト]を選択し、OKボタンを押します。

8. 再生するメモリーを選択し、OKボタンを押します。

9. スライドショーとして再生したい写真データがあるフォルダーを選択し、スライドショーボタンを押します。

※リモコンのEXITボタンを押すとスライドショーを停止します。

10. カレンダーボタンを押すとカレンダー/時計が画面に表示されます。

※リモコンのカレンダーボタンでカレンダー・時計の表示/非表示の切り替え、表示位置の変更ができます。

以上でBGM再生しながらのカレンダー/時計付きスライドショー表示は完了です。

> 再生する音楽データや写真データは、あらかじめ内蔵メモリーにコピーしておくと、再生時にメディアを本製品に取り付けなくても再生できるので便利です。また、内蔵メモリーにデータがある場合、トップメニュー画面でもBGMボタンやスライドショーボタンを押すと自動的に内蔵メモリーのデータを再生します。

スライドショーの表示方法を変更する

[設定]-[スライドショー設定]を選択すれば、スライドショーの切り替え間隔時間、画像を切り替えるときの効果の種類、再生順序等を変更することができます。

マイフォルダーに登録する

フォルダーを選択している状態でMENUボタンを押すと表示されるサブメニューで、[マイフォルダーに追加]を選択すれば、選択したフォルダーのショートカットがトップメニューの「マイフォルダー」に登録されます。次回からトップメニューで[マイフォルダー]から選択すると操作時間の短縮になります。

※マイフォルダーに登録できるのは、フォルダーのみです。データは登録できません。

本製品をパソコンのカードリーダーにする

本製品のUSBコネクター(miniB)とパソコンをUSBケーブル(付属)で接続すれば、本製品に接続したメモリーカード(SDメモリーカード、マルチメディアカード、メモリースティック、メモリースティック PRO、xDピクチャーカード)をパソコンで読み取ることができます。

※パソコンの電源がONの状態でメモリーカードやUSBケーブルを取り外すときは、タスクトレイのアイコン(、 、 のいずれか)をクリックし、表示されたメニューから[USB大容量記憶装置(デバイス)]を選択します。「安全に取り外すことができます」と表示されたら取り外します。

※メモリーカードへアクセスしているときは、メモリーカードおよびUSBケーブルを取り外さないでください。

本製品の起動時刻、終了時刻を設定する

[設定]-[日時設定]-[タイマー設定]で起動時刻と終了時刻を選択すれば、設定した時刻のみ本製品の電源をONにすることができます。

アラーム音を設定時刻に鳴らす

[設定]-[日時設定]-[アラーム設定] で設定すれば、指定時刻にアラームを鳴らすことができます。アラームは、[アラーム設定 1] と [アラーム設定 2] の２つを設定することができます。

Flickr/Picasa のデータを再生する

次の手順でインターネットを利用したアルバムサービス「Flickr」や「Picasa」のデータを表示することもできます。

※あらかじめ、パソコンからFlickr(http://www.flickr.com/)やPicasa(http://picasa.google.co.jp/)のホームページからアルバムを作成しておいてください。

※本製品をネットワーク(インターネット)に接続している必要があります。

1. 本製品の電源をONにします。

※リモコンの⏻ボタン、または本体の⏻ボタンを押すと、本製品のON/スタンバイを切り替えます。

2. ▼▲ボタンで[設定]を選択し、OKボタンを押します。

3. [アカウント設定]を選択し、OKボタンを押します。

4. 使用しているアルバムサービスを[Flickr設定][Picasa設定]から選択し、OKボタンを押します。

5. MENUボタンを押して表示されたメニューから[IDの追加]を選択し、OKボタンを押します。

※[IDの編集]を選択すると、アカウントのユーザーIDを変更することができます。[IDの削除]を選択すると、アカウントのユーザーIDを削除します。

6. 画面上のソフトウェアキーボードでユーザーIDを入力します。
以上でアカウントの設定は完了です。続いてFlickrまたはPicasaのフォルダーを開きます。

7. ホームボタンを押してトップメニューを表示します。

8. [フォト]を選択し、OKボタンを押します。

9. 使用しているアルバムサービスの[Flickr]または[Picasa]を選択し、OKボタンを押します。

10. 設定したアカウントを選択し、OKボタンを押します。

11. 再生するフォルダー、データを選択し、▶ ボタンまたはOKボタンを押します。

※スライドショーボタンを押すとスライドショーを開始します。

選択したデータが再生されます。

ファームウェアをアップデートする

次の手順で本製品のファームウェアをアップデートすることができます。

1. インターネットに接続されたパソコンで、弊社ホームページ(buffalo.jp)から PF-50WGシリーズファームウェアアップデート用ファイルをダウンロードします。

2. 別途USBメモリーを用意し、ダウンロードしたファイルをUSBメモリーに保存します。

※FAT/FAT32でフォーマットしたUSBメモリーをお使いください。FAT/FAT32以外には対応していません。

3. ダウンロードファイルを保存したUSBメモリーを本製品のUSBコネクター(シリーズA)に接続します。

4. 本製品の電源をONにします。

※リモコンの⏻ボタン、または本体の⏻ボタンを押すと、本製品のON/スタンバイを切り替えます。

5. ▼▲ボタンで[設定]を選択し、OKボタンを押します。

6. [システム]を選択し、OKボタンを押します。

※[システム]は[スライドショー設定]の下にあります(最初の画面には収まっていません)。

7. [ファームウェアアップデート]を選択し、OKボタンを押します。

8. [はい]を選択し、OKボタンを押します。

※ファームウェアアップデート中は本体の電源をOFFにしないでください。アップデート中は画面が乱れたり消えることがあります。異常ではありません。本体が自動で再起動するまでそのままお待ちください。

以上でファームウェアのアップデートは完了です。

内蔵メモリーのデータを消去する

[設定]-[システム]-[設定初期化]-[内蔵メモリーデータの消去]で本製品に内蔵されているメモリーのデータを消去することができます。

※消去中は本体の電源をOFFにしないでください。

設定を初期化する

[設定]-[システム]-[設定初期化]-[設定の初期化]で本製品の設定を初期化することができます。

※初期化中は本体の電源をOFFにしないでください。

AOSS設定時にエラーメッセージが表示されたときは

AOSSが正常に設定できないとき、以下のメッセージが本製品の画面に表示されます。そのようなときは次の対処を行ってください。

「AOSSモードのアクセスポイントが見つかりませんでした」
無線LAN親機がAOSSモードになっているか確認してください。または無線LAN親機と製品を近づけてから再度設定を行ってください。

「二台以上のAOSSモードのアクセスポイントが発見されました。時間を置いてやり直してください」
AOSSは無線LAN親機と製品は1対１で行われます。AOSS状態の無線LAN親機が1台になるまでお待ちください。

「他のクライアントが接続中のため、少し待ってからやり直してください」
複数の無線パソコンがAOSS機能を使って無線LAN親機に接続しようとしています。

「AOSSモードのアクセスポイントが見つかりませんでした。」
AOSSモードの無線LAN親機が見つかりませんでした。無線LAN親機の電源、AOSSボタンを確認し、再度設定を行ってください。

パソコンにMediaServer2をインストールして使うときの注意

ファイアウォールの設定について

ファイアウォールの機能が有効となっている場合、本製品からパソコンを認識できないことがあります。この場合は、ファイアウォール機能を無効にするか、TCPポート「8888」「9666」「9667」「58080」「58001」の使用を許可するか、ファイアウォールを設定しているソフトウェアをアンインストールしてください。設定に関する手順については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

「このプログラムをブロックし続けますか？」と表示されたときは

Windows XP/Vistaをお使いの場合、MediaServer2のインストール後、パソコンを再起動したとき、「このプログラムをブロックし続けますか？」と表示されることがあります。
このようなときは、**[ブロックの解除]をクリックしてください。**

ブロックしてしまうと本製品でパソコンを認識できないことがあります。

[後で確認する]をクリックしてしまった場合、Media Server2を再起動してください。再び「このプログラムをブロックし続けますか?」と表示されます。[ブロックの解除]をクリックしてください。[ブロックする]をクリックしてしまった場合、次の手順でファイアウォールの設定を変更してください。

Windows Vista
1. [スタート]-[コントロールパネル]をクリックします。
2. [セキュリティ]の[Windowsファイアウォールによるプログラムの許可]をクリックします。
3. [ユーザーアカウント制御]画面で[続行]をクリックします。
4. [Windowsファイアウォールの設定]画面の[例外]タブの中の[プログラムまたはポート]の中の[mediaserver.exe]にチェックを入れて[OK]をクリックします。

Windows XP
1. [スタート]-[コントロールパネル]をクリックします。
2. [ネットワークとインターネット接続]-[Windowsファイアウォールの設定を変更する]をクリックします(または[Windowsファイアウォール]をダブルクリックします)。
3. [例外]タブをクリックします。
4. [mediaserver.exe]のチェックボックスをクリックし、チェックマークを表示させます。[OK]をクリックします。

本製品の設定

トップメニューで[設定]を選択し、OKボタンを押すと本製品の設定画面が表示されます。各設定項目は次のとおりです。

[設定]を選択

設定画面

設定	項目	説明
ネットワーク設定	ネットワーク検索 手動設定 WPS設定をはじめる AOSS設定をはじめる	無線LAN親機を検索し、設定します。 手動でSSID、セキュリティー、パスワードを入力して無線LAN親機と接続します。 WPS対応の無線LAN親機と接続する際に選択します。 AOSS対応の無線LAN親機と接続する際に選択します。
アカウント設定	Flickr設定 Picasa設定	FlickrのユーザーIDの追加/編集/削除を行います。 PicasaのユーザーIDの追加/編集/削除を行います。
日時設定	現在の日付と時刻 時間を自動更新する タイムゾーン設定 時間表示設定 サマータイムを設定する 時計を進めて表示させる タイマー設定 アラーム設定1 アラーム設定2	現在の日付と時刻を指定します。 時刻を自動で更新するかどうかを設定します。自動更新するには、本製品をネットワーク(インターネット)に接続している必要があります。 タイムゾーンを選択します。 12時間表示/24時間表示を切り替えます。 サマータイム(1時間早める)にするかどうか設定します。 実際の時刻より何分進めて表示させるか指定します。 本製品の起動時刻、終了時刻を設定します。 アラームを鳴らす時刻を設定します。 アラームを鳴らす時刻を設定します。
ディスプレイ設定	自動スライドショー バックライト輝度 輝度調整 コントラスト調整 彩度調整 写真の大きさ 写真の表示向き	内蔵メモリー内のフォトデータをスクリーンセーバーのように自動でスライドショーするよう設定します。 バックライトの強さを[01]～[10]から調整します。 画面の明るさを[01]～[10]から調整します。 画面のコントラスト(明暗の差)を[01]～[10]から調整します。 画面の彩度(色の鮮やかさ)を[01]～[10]から調整します。 写真の表示方法を[全体表示(画面に合わせる)][拡大表示(写真に合わせる)]から選択します。 写真の向きを[0゜]、[90゜]、[180゜]、[270゜]から選択します。
スライドショー設定	スライドショー時間間隔 スライドショーパターン 再生順 カレンダー/時計表示	スライドショー時間間隔を[オフ][5秒][10秒][15秒][30秒][45秒][60秒]から選択します。 画像を切り替えるときの効果の種類を選択します。 画像の再生順を[順次][ランダム]から選択します。 スライドショー中のカレンダー/時計の表示/非表示を設定します。
音楽設定	ボリューム 再生順	音量を[00]～[10]から調整します。 音楽の再生順を[順次][1曲リピート][全曲リピート][シャッフル]から選択します。
システム	本体情報 言語設定 ファームウェアアップデート 設定初期化	ファームウェアのバージョン、SSID、IPアドレス、MACアドレス、インターネット接続状況、内蔵メモリの空き容量を表示します。 言語設定を[English][日本語]から選択します。 ファームウェアをアップデートします。 本体の設定を初期化、内蔵メモリーデータの消去をします。

困ったときは

○電源が入らない

原因. ACアダプターが接続されていない
対策. 別紙「はじめにお読みください」を参照して本製品の電源コネクターとコンセントを付属のACアダプターで接続してください。

○画面が正常に表示されません

原因1. メモリーが正しく接続されていない
対策1. 別紙「はじめにお読みください」を参照してメモリーを取り付けてください。

原因2. ファイルのフォーマット形式が対応していない
対策2. 別紙「はじめにお読みください」に記載の対応フォーマット以外のデータは表示できません。

○フォルダー名、ファイル名が正しく表示されない

原因. 全角英数字または半角カタカナのフォルダー名、ファイル名が使用されている

対策. 全角英数字と半角カタカナのフォルダー名、ファイル名は本製品で表示できません。パソコンに接続してフォルダー名、ファイル名を半角英数字、または全角カタカナに変更してください。

○データを削除できない

原因. メモリーに書き込み禁止の設定やロック機構でロックがされている

対策. 書き込み禁止設定を解除、またはロックを外してください。

○画像の回りに余白がある

原因. 横長、縦長の画像データを再生している
対策. 極端に横長、縦長の画像データは比率によって余白が発生することがあります。

○リモコンが操作できない

原因1. 電池が消耗している
対策1. 新しい電池に交換してください。付属の電池は動作確認用です。できるだけ早めに新しい電池と交換してください。

原因2. 電池の向きが間違っている
対策2. リモコンに記載された電池の向きに合わせて電池をセットしなおしてください。

> 弊社ホームページには、本製品についての「トラブルシューティング」などが記載されています。困ったときにご参照ください。
>
> **http://buffalo.jp/qa/faq/**

使いかたガイド　2009年5月13日　第2版発行　　発行／株式会社バッファロー